

世界はひとつ

(公財) 岐阜県国際交流センター(略称GIC) 発行
国際交流・多文化共生情報誌

日本語版



©岐阜県 清流の国ぎふ しまろ #0135

外国人住民への生活設計支援事業

岐阜県に住む外国人住民は、再び増加傾向にあり永住化が進行しています。しかし、外国人の保護者は、日本の教育制度や教育費等の情報や理解が不足していることから、日本で暮らすための生活設計が立てづらく、子どもの就学や進学に影響を与えてしまうことも少なくありません。そこで、当センターでは、平成28~29年度にわたり、定住・永住傾向のあるブラジル人、フィリピン人の保護者を対象に、日本の教育制度や教育に必要な費用等を学ぶ講座を開催し、日本での定住を前提とした長期的なライフプランや貯蓄の必要性を伝え、子どもの将来のために生活設計を立てられるよう支援を行っています。また、外国人の子どもを対象に、正社員と非正規社員の違いを学ぶ講座や、岐阜県で活躍する外国人先輩の体験談を聞く機会を設け、子ども達が将来に夢を持ち、希望する生活の実現に向けて努力するきっかけづくりを行っています。



講師 / ファイナンシャルプランナー 竹内 幹氏



講師から説明を熱心に聴く外国人保護者



外国人先輩からの体験談

平成28年度の実施状況

- 1. 保護者向けセミナー**
場所: 美濃加茂市、岐阜市、大垣市 参加者: 述べ75名
- 2. 子ども向けセミナー**
場所: 東濃高校、不破高校、HIRO学園 参加者: 述べ61名
- 3. 子ども・保護者向けセミナー**
場所: 蘇南中学校 参加者: 57名

講義内容

- ・日本の教育制度、教育費 ・奨学金、教育ローン、教育費の貯め方
- ・ライフプランの作成、計画的な貯蓄の必要性
- ・正社員と非正規社員の違い
- ・岐阜県で正社員として活躍する先輩や将来の夢に向かって専門学校で学ぶ先輩の体験談

平成29年度は講座開催とともに、「ライフプランガイドブック」の作成を予定しています!



CONTENTS 目次

国際交流員お別れの挨拶 .. P2
・アメリカ出身 セリナ・フォレスト

世界の文化紹介
・フランスのナショナル・デー

センターの事業報告 P3
・多文化共生サロン
・地域日本語教育全体会議

多文化共生社会の実現に向けて .. P4
川を安全に楽しむために

外国人住民向けの生活情報 P5,6
・ゴミの出し方、リサイクル情報
・乳幼児健康診査を受けましょう

岐阜県で活躍する団体の紹介 .. P7
・岐阜県国際交流団体協議会 (GIA)

JICA岐阜県デスクからのお知らせ

インフォメーション P8
・センターからのお知らせなど

セリナ国際交流員から退任のご挨拶

2016年の夏に初めて岐阜に足を踏み入れてから、もはや一年が経とうとしています。

一年といっても、とても早く感じましたが、今年の8月をもって岐阜を離れることになりました。この短い間、少しでもこの県のコミュニティーに参加できたということは大変嬉しいことです。そして、あと少しでここから離れるということは同じほど寂しいことです。

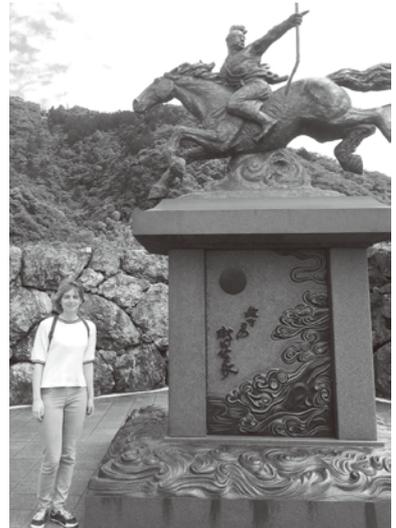
社会人として初めての仕事で、最初のころは戸惑うことが多く、分からないこともたくさんありましたが、優しい先輩に教えていただき、様々な経験を重ね、毎日仕事に行くことがとても楽しみになってきました。学校訪問で明るくて面白い子ども達と交流し、語学講座で生徒たちとディスカッションや意見交換ができ、行政情報の翻訳を行うことで岐阜県について様々なことを学び、本当に充実した日々を感じました。

また、休みの日に、岐阜県のような場所に行くことで、美しい自然の景色や、深い歴史の背景を持った場所にいつも感動していました。金華山の山頂から岐阜を見渡せば、岐阜城を建て、激しい戦国時代を生きた織田信長の史跡があり、杉原千畝記念館では、自国の政府からの命令に逆らってまで平和と命を守ろうとした杉原千畝の軌跡がある岐阜。

アメリカであまり知られていないこの県に住むことになった時は、少し不安がありましたが、今は本当に心から、岐阜で良かったと思っています。ここに住む時間もあとわずかではありますが、柳ヶ瀬商店街を歩いたり、図書館で勉強したりして、残りの時間も岐阜のコミュニティーの一員として過ごしたいと思っています。

私の出身のアメリカは、日本でも多く報道されて、日本人にとってもある程度なじみのある国として考えられているかと思いますが、この一年間で、私が少しでもテレビで見られない、ネットで見つからないアメリカのことを伝え、アメリカをより好意的に、身近に感じていただけたなら幸いです。これからも、自分の生活で多文化共生に貢献できる方法を考えていきたいと思っています。

この一年間本当に、ありがとうございました！



岐阜公園入口にて

フランスのナショナル・デー

フランスのナショナル・デーは1880年から毎年7月14日に行われ、祝日になっています。フランス人にとって、フランス革命の発端となったバスチーユ監獄襲撃のことが先に思い浮かぶので、ナショナル・デーより革命記念日と呼ぶ人が多いです。しかし、フランスのナショナル・デーは、革命記念日であると同時に、建国記念日でもあります。

革命記念日は、絶対君主制と封建社会と貴族の特権廃止を祝う日です。一方、建国記念日はフランス国憲法と自由を勝ち取った国民とを祝う日です。7月14日はフランス社会全体が「自由・平等・友愛」という共和国の3つの柱を実感する、まさにナショナル・デーなのです。



フランス人はどうやってフランス革命記念日を祝いますか。

14日は祝日になりますが、翌日の夜から全国各地でダンスパーティーや打ち上げ花火などが催され、国中が盛り上がります。ダンスパーティーの中で一番人気なのは「バル・デ・ボンピエ」です。消防士の職場に国民を招いてダンスパーティーを開催します。次の日の10時からはフランス大統領が出席する軍事パレードがシャン・ゼリゼ通りで行われます。軍事パレードを見に行く人が多いので朝から並ばないと良い場所を取れないですし、エッフェル塔の花火でもそうです。パリでは夜からセーヌ川の岸に若者や家族が集まって、打ち上げ花火を待ちながらピクニックをする習慣があります。賑やかで盛り上がっているフランス(特にパリ)を楽しむのは一つの夏の幸せです。しかし、参加できない人々はインターネットでもテレビでも生放送で見られます。

7月14日はフランス共和国の象徴ですし、普段より「Liberté(リベルテ), égalité(エガリテ), fraternité(フラテルニテ)」(自由、平等、友愛)をより感じる日です。



◆◆GICの事業報告◆◆

多文化共生サロン「世界の食文化を味わう料理教室」を開催!

当センターでは県民の皆様に多文化・異文化理解を深めていただくため、様々な国の文化等を紹介する「多文化共生サロン」を開催しています。今年2月19日(日)と2月23日(木)に、ドリームシアター岐阜(岐阜市)において、食文化をテーマとして、当センターの国際交流員等外国人講師が、自国の家庭料理を参加者の皆さんと作り、味わいながら食材や料理にまつわる習慣や思い出などを紹介する「世界の食文化を味わう料理教室」を開催しました。

どの料理も日本で簡単に手に入る食材を使ってでき、調理方法もとてもシンプル。メニューを見ると、日本でもおなじみの料理がほとんどですが、調味料や調理方法が少し変わるだけでお国柄の違いを感じることができました。

参加者の方からは「いろいろな国の料理を1日で味わい、交流もできて楽しかった」というお声を多くいただき大好評でした。



2月19日(日)のメニュー

- ☆カボチャのスープ(アメリカ)
- ☆なすトルタ(フィリピン)
- ☆ボン・デ・ケージョ(ブラジル)



ボン・デ・ケージョはチーズの香りとタピオカ粉のもちもちした食感が魅力です。つい食べ過ぎてしまうおいしさです!

2月23日(木)のメニュー

- ☆ジャガイモ入り豚肉の角煮(中国)
- ☆クスル(トルコ)
- ☆キッシュ(フランス)



クスルはトルコのサラダです。日本ではクススと呼ばれることが多い小麦から作られたこの食材とレタスやタマネギ、キュウリなどを合わせ、サルチャといわれる調味料で味付けします。ポイントはたっぶりのイタリアンパセリ! 日本では料理のアクセントとして添えることが多いですが、ここでは他の野菜同様に使います。仕上げにレモンをぎゅっと絞っていただきました。暑くなるこれからの季節にもぴったりの一品です。

平成28年度 地域日本語教育全体会議 地域の日本語教室それぞれの課題解決を考えるワークショップを開催!

外国人住民の定住化が進む岐阜県では、多文化共生社会の実現に向けて、県内の市町村や市町国際交流協会、ボランティア団体等が様々な取り組みを行っています。その一つである、地域における日本語教室は、外国人住民にとって、日本語学習の場であるとともに、地域の情報を得る場、地域の皆さんと接する場として、重要な役割を果たしています。

こうした日本語教室の多くは、ボランティアの方々によって支えられており、教室運営者やコーディネーターの方が中心となって多様な外国人住民のニーズに対応するよう様々な工夫を行いながら、日本語支援を行っています。他の日本語教室との意見交換ができる場や活動中に生じる悩みや課題を共有できる機会は多くありません。

そこで、県内の日本語教育関係者が一堂に会し、教室での活動における課題やその解決方法、事例の共有を行う場を設け、県内の日本語教室の活性化を図るため、2月26日に「平成28年度地域日本語教育全体会議ー地域の日本語教室それぞれの課題解決を考えるワークショップ」を可児市国際交流協会の協力のもと開催しました。

東海日本語ネットワーク副代表の米勢治子先生を講師にお迎えし、「課題発見の視点を得る」ための講義の後、グループごとに課題を出し合い、目標となる状態を定めて、課題が発生した原因や、解決・改善のためにできることを話し合い、みんなで共有しました。

自分の関わる地域の実情をよく知ることで課題や原因、改善方法が見つけやすくなることを参加者全体で学ぶことができたとともに、いつもは別の場所で活動する多くの支援者がつながる機会となりました。



岐阜県の多文化共生社会の実現に向けて センターから皆さまへのメッセージ

県内には、県人口の2.3%を占める約4万6千人の外国人住民が生活しています（H28.12月末現在）。センターは、国籍や生まれ育った環境が違って、お互いの文化や考え方を認め合い、安心して快適に暮らすことができる地域社会（多文化共生社会）の実現を目指し、「多文化共生の地域づくり」「地域国際化推進のための環境づくり」「ボランティア・民間団体の活動促進」を3本の柱として、主に下記の事業に取り組んでいます。

県民の皆さまから信頼され、期待される団体を目指して、行政、多文化共生・国際交流団体、教育機関、医療機関等と協働して、岐阜県の国際交流拠点としての役割を果たしていきたいと考えていますので、引き続き、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

■地域国際化推進のための環境づくり■

- ・多言語情報誌「世界はひとつ」の発行など多文化共生の情報発信
- ・多文化共生の理解促進のための語学講座
- ・国際交流員による学校訪問など国際理解教育の支援
- ・日本人と外国人住民の国際交流イベント（ハローギフ・ハローワールド）

■多文化共生の地域づくり■

- ・外国人の子ども・保護者の生活設計支援
- ・外国人相談員による生活相談、行政書士等専門家と連携した相談
- ・日本語支援ボランティアの育成

■ボランティア・民間団体の活動促進■

- ・医療通訳ボランティアの斡旋・育成
- ・災害時語学ボランティアの育成
- ・災害時の支援ネットワーク構築
- ・多文化共生・国際交流団体への助成
- ・ボランティア登録、自治体・団体へのボランティアの紹介



※賛助会員ご入会の方には2月に開催した「世界の食文化を味わう料理教室」でご紹介したレシピ集を差し上げます。

●賛助会員へのご協力をお願いします

幅広い県民の皆様の参加による岐阜県の多文化共生社会づくりを積極的に推進するため、当センターの活動をご理解いただき、応援していただく「賛助会員」を募集しています。

- 会費 個人会員…1口3,000円/年 団体会員…1口5,000円/年
※年度途中での入会の場合、初年度のみ、会費は月割りとなります。
※当センターは公益財団法人の認定を受けておりますので、賛助会費は税制上の優遇措置があります。
- 特典 センター主催の有料イベント（語学講座、料理教室等）の優先参加や参加費割引
センター機関誌「世界はひとつ」の定期送付（年3回）
賛助会員協賛企業、店舗での各種割引 など
- 入会方法 センターまでご連絡ください。

川を安全に楽しむために



川遊びが楽しいこれからのシーズン。川には急な増水などとても危険な一面もあります。5つのやくそくを守って、安全に川を楽しんでください。

●5つのやくそく

- ①川には生き物がいっぱい。魚・虫・鳥などの動物や植物のことをたくさん感じてね。
- ②川のそばでは子どもだけで遊ばないこと。絶対に一人で行かないでね。
- ③川は楽しいところだけど怖いところもあるよ。川を知って、自分でできることを考えてみよう。
- ④川はいつも変化しているよ。遊ぶときは天気や川の流れに注意しよう。
- ⑤川の中へ入るときはライフジャケットをきちんとつけよう。

●【保護者の皆さまへ】川で遊ぶときの注意点

- ①子どもだけでは行かない、行かせない。
- ②雨の後など、増水している時は行かせない。
- ③警察や消防からの指示があればすぐに従う。
- ④川の流れは場所によって違うので注意する。
- ⑤川の深さは場所によって違うので注意する。
- ⑥携帯電話やパソコンで川の状況を確認する。



●水に入るときの服装

- ①ライフジャケットをつけよう。
- ②ぬれてもよく乾きやすい服装にしよう。
- ③ウオーターシューズ、リバーシューズなど脱げない靴をはこう。（かかとの無いビーチサンダルは脱げてあぶないよ!）



©岐阜県 清流の国ぎふ・ミナモト #0195

●岐阜県川の防災情報

岐阜県内の「雨量」や「水位」をリアルタイムでチェック!
<http://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/>



●ぎふ川と道のアラームメール

地域別の大雨や洪水、通行止めなどの情報があなたの携帯電話やスマートフォンへ自動送信!
<https://service.sugumail.com/gifu/member/>



参考:出典:公益財団法人河川財団発行「水辺の安全ハンドブック」



国際交流員が紹介する外国人住民向け生活情報!

日本では、ゴミの捨て方が特徴的で細かく、岐阜県内でも市町村によってさまざまなルールがあります。みなさんはゴミの捨て方のルールをきちんと理解し守って処分していますか。岐阜県国際交流センターの国際交流員らが、自国との違いで気づいたことやゴミを捨てる際のポイントなどをピックアップしてみました!

☆自分ごと☆

指定場所以外のところや曜日に捨てる。



ブラジルでは自分の家の前に出しますし、今でも黒色のゴミ袋を使っています。

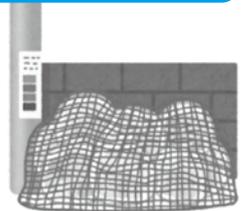


カラスにゴミを荒らされる。



回収時間より早くゴミを出したり、長く置きっぱなしにしたり、カラス除け対策をしなかったりすると、カラスは生ごみを狙ってゴミ袋を破って中身を散らかしてしまいます。

ゴミが散らかされてしまわないように、回収時間のみに対象ゴミを置きましょう。ふたのあるゴミ箱があれば、しっかりふたを閉めましょう。また、ネットを掛けたり、カラスが近寄らないようにカラス除けマットを置いたり、カラス除け対策に協力しましょう。



正しく分別できていない。



アメリカでは好きな時に好きなものを出していいので、決まった曜日に決まったものだけ出すことは自分にとって異文化でした。



アメリカの台所の流し台にはとても便利で少しだけ怖い機能があります。それは、生ごみ処理機です。生ごみや油等を流し台に流し、スイッチを入れたら、パイプの中で自動的に処理されます。ただし、他のものを間違えて流してしまったら要注意! (笑) アメリカの家庭ではこのような流し台が一般的になっているため、「生ごみは流し台に流して処理する」という知識も広がっています。しかし、日本では、生ごみや油などを流し台に流してしまったり、悪臭やパイプ詰まりの原因になってしまいますので、燃やせるゴミ等として捨てましょう。

ペットボトル・ビン・カン

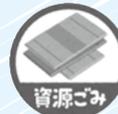
- ✓ 中を水で洗う
- ✓ キャップやラベルを外す



♻️と表示のある容器は、プラスチックなので普通ゴミ又は資源ゴミですよ!

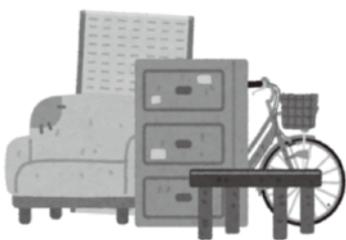


食用油の容器はペットボトルと勘違いしやすいので、要注意!



資源ゴミ (古い新聞、衣料品、フライパン等リサイクルできるもの) は、再利用できる大切なものです! 市町村の役所に相談し、資源ゴミの分別・最適な回収方法を確認しましょう。

粗大ゴミの処分に困っている。



日本では、粗大ゴミの処理方法は予約制でしかも有料です。例えば、岐阜市では粗大ゴミ受付センターにゴミの品目、大きさ、個数等の必要事項を伝え、回収日と収集場所を確認します。その後、コンビニ等で処理券(シール)と処理袋を購入し、指定の日付と時間帯に指定の場所に出します。勝手に出しては絶対だめです。車をもってれば、事前確認の上、自分で施設まで搬入(持込み)することもできます。

まだ使えるような不要物は以下の方法で他人に売ることができます

- ・ 古着や家電、家具などを買取してくれるリサイクルショップ
- ・ 中古品情報を掲載できるネット掲示板
- ・ 幼稚園や学校で行われるバザーやフリーマーケット

このように、自分の不要品を手軽に処分でき、その上お金も得られる、必要とする人は安く入手できる、大切な地球資源の節約にもつながる、まさに「一石三鳥」のメリットがあります。

中国では、粗大ゴミを回収して再利用する専門の業者がいて、ゴミの買取を行っています。だから、不要になった家電、家具などを出す時、お金がかかるどころか、リサイクル業者からお金がもらえるのです。



私たちの地元では、家の前の道路沿いに出しておけば、必要としている人が持っていくってくれるのです!



ブラジルでは、使用済み油で手作り石鹸を作っている家庭が多いので、使用済み油の廃業にはあまり困りません!



ゴミ出しポイント!

● 使用済み油の処理

- ✓ 新聞紙などに吸わせる
→ 市販でも油を吸わせる専用のものもある。
- ✓ 市販の凝固剤を使って、油を固める
- ✓ ペットボトルに入れて、指定場所に捨てる





乳幼児健康診査を受けましょう

今回は岐阜県で子育てを頑張っている外国籍のお母さん達の手助けになるよう、日本における乳幼児健康診査に関して説明していきます。

乳幼児とは、生まれてから小学校に入学するまでの未就学のお子さんのことで、乳幼児健康診査の目的は、乳幼児の発育発達の確認、育児に関する悩みや相談へのアドバイスなど、お母さんへの支援が主な役割です。年齢によって様々な検査があり、先天性障害の有無、予防接種のタイミング、運動機能、神経、言語の発達等がわかります。

乳幼児健康診査は、主に、法律で決められた1歳6ヶ月児健診と3歳児健診のほか、ほとんどの自治体で実施されている3～4ヶ月健診など公費で行われる公的健診と、私費で行う私的健診があります。

乳幼児健康診査を受けるには母子健康手帳が必要になりますので、かかりつけのお医者さん、またはお住まいの市町村へお問合せください。

公的健診について

公的健診のお知らせは、お住まいの市町村から案内がありますので、その指示に従ってください。保健センター等指定された場所で、集団で行う場合が多いです。
※右記の内容は一例ですので、お住まいの市町村によって異なる場合があります。

年 齢	主な健診内容
3～4ヶ月	・股関節の動き、首のすわりの確認 ・離乳食、虫歯予防の講義 ・身体測定・専門家による面談
1歳6ヶ月	・運動機能、神経の発達、言語の発達、乳歯の生え方の確認 ・予防接種状況の確認 ・身体測定・専門家による面談
3歳	・社会性の発達の確認・生活習慣・行動の確認 ・歯科検診、尿検査 ・身体測定・専門家による面談

私的健診について

私的健診は、生後1ヶ月、6ヶ月、9ヶ月、1歳頃に行うことが多いです。費用は実費になりますが、市町村によっては助成を受けられる場合がありますので、事前にお問合せください。なお、この健診は市町村から指定された医療機関で行う場合もあります。
※右記の内容は一例になりますので、お住まいの市町村によって異なる場合があります。

年 齢	主な健診内容
1ヶ月	・ビタミンKシロップの摂取 ・反射テスト ・身体測定・専門家による面談
6～7ヶ月	・寝返り・お座りの確認 ・音・おもちゃへの反応 ・身体測定・専門家による面談
9～10ヶ月	・離乳食の進み具合 ・ハイハイ、つかまり立ちの確認 ・乳歯の生え方の確認 ・身体測定・専門家による面談
1歳	・離乳食の進み具合 ・つかまり立ち、伝え歩き ・乳歯の生え方の確認 ・予防接種のチェック ・身体測定・専門家による面談

健診を受ける時のアドバイス

公的健診は各市町村の保健センターなどの施設で、集団で開催される場合が多く、周りには同じ境遇のお母さんがたくさんいますので、お互いに情報交換することによって、日本の育児を知ることができます。また、育児に関する不安や悩みを専門家に相談できますので、母子健康手帳を活用し、お子さんの日頃の行動を記しておき、相談することをあらかじめ決めておくとスムーズです。

健診は、赤ちゃんが慣れていない環境で行われます。おむつ、着替え等の準備はもちろんですが、おしゃぶりやおもちゃ等、赤ちゃんが安心できるような物を持って行くのがお勧めです。

出産後は女性ホルモンバランスの乱れによって、気分の落ち込みや体調不良を起こしやすくなります。自分一人で抱え込まないで、小さなことでも誰かと話すことによって気持ちが楽になります。

**専門家や同世代の子どものお母さんと接し、
相談できる重要な機会ですので、必ず受けましょう!**

Close up!

岐阜県で活躍する団体の紹介

国際交流団体の連携・調整に活躍

岐阜県国際交流団体協議会 (GIA)

国際交流団体の連絡・調整を図り、国際交流を円滑かつ効果的に促進することを目的として1988年に設立され、現在37の団体が加盟しています。

岐阜県内の国際交流・協力団体等の活動や各国の文化を様々なパフォーマンス体験を通じて広く県民に紹介し、日本人と在住外国人の相互理解と交流を深めるイベント「ハローギフ・ハローワールド」を毎年開催しています。



■ GIAからのメッセージ

民間団体が主体となって開催している「ハローギフ・ハローワールド」は昨年度で28回目を迎え、草の根レベルでの国際交流や国際協力が広がりをみせています。県内の外国人住民が増加する中、これからも日本人と外国人住民が集い、交流や理解を深めていただく場を提供するとともに、団体の活動支援と連携促進に向けた活動を続けていきたいです。今年の「ハローギフ・ハローワールド」は10月29日(日)に開催します。皆さま、ぜひお越しください!

問合せ

岐阜県国際交流団体協議会 (GIA) 事務局長：市来(いちき)
Tel:058-214-7703 E-mail:giagia200711@yahoo.co.jp

JICA岐阜県デスクからのお知らせ



JICA岐阜県デスク 新任の挨拶

岐阜県のみなさん、はじめまして! 今年の1月より新たに岐阜県国際協力推進員になりました、世古英弘と申します。私は2012年の10月から2014年の9月まで、青年海外協力隊員として南太平洋にあるトンガ王国というところで2年間を過ごしました。自然災害が多く発生するトンガ王国で、小学校や地域コミュニティを訪問し、防災意識啓発やハザードマップの周知などの活動をしました。

これからは岐阜県の皆さんに国際協力について興味を持って頂くべく、学校での国際理解教育の普及や、地域のイベントに積極的に参加し、国際協りに触れて頂ける機会を多く作っていきたくと思っています。皆さんにお会いできるのを楽しみにしております!どうぞ宜しくお願い致します!



↑トンガの結婚式に参列させて頂いた時の写真。衣装が派手!

JICAボランティアとは?

開発途上国の人々とともに生活し、異なる文化・習慣に溶け込みながら、草の根レベルで途上国の抱える課題の解決に貢献するために、国際協力の志を持った20才~69才までの方々をボランティアとして派遣しています。JICAボランティアの活動の基本姿勢は、「現地の人々とともに」という言葉に集約されています。つまり、派遣された国の人々とともに生活し、彼らの言葉を話し、相互理解を図りながら、彼らの自助努力を促進させる形で協力活動を展開しております。派遣期間は原則2年間で、派遣国は88カ国に及んでいます。

詳しくは、ウェブサイト
をご確認ください

JICA中部 国際協力推進員

検索

~JICAボランティアや開発教育・国際理解教育、その他国際協力に関して、お気軽にお問合せください~

JICA岐阜県デスク 岐阜県国際協力推進員 世古英弘
TEL:058-263-8069 E-mail:jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp

岐阜県国際交流センターからのお知らせ

世界各国の文化を楽しもう!

ハローギフ・ハローワールド2017



世界各国の文化に触れて楽しく国際交流しませんか?

当センターでは岐阜県国際交流団体協議会と協働して、年に一度の一大国際交流イベントを毎年開催しています。

今年には日中国交正常化45周年、岐阜市と中国・杭州市の日中不再戦碑文交換55周年でもあることから、中国をメインに岐阜高島屋前のわくわく広場での世界の歌や踊りのステージ、シネックスホールでの岐阜県の国際交流団体ブースによる各国紹介、民族衣装試着、民芸品販売など盛りだくさんで開催します。各ブースにいる外国人の方との交流も楽しめます。皆さんお誘い合わせの上、是非ご来場ください。

と き：10月29日(日)10:00~15:00

対 象：日本人・外国人住民の方々 ※毎年約3000人来場あり!

と ころ：シネックスホール

問 合 せ：岐阜県国際交流団体協議会事務局

岐阜高島屋前わくわく広場

TEL.058-214-7703

(岐阜市日ノ出町2丁目20 ※柳ヶ瀬商店街内)

センター国際交流員もブースにてお待ちしております。皆さんとお話できるのを楽しみにしています!

他団体からのお知らせ

▶AFS留学を語る会(高校留学フェア)

AFS63期夏組として、世界7カ国へ派遣された岐阜出身の高校生たちが帰国報告をします。また、岐阜受入れ留学生4名も留学生活を紹介します。次はあなたが飛び立ってください。

と き/7月17日(月・祝)10:00~12:00

と ころ/ソフピアジャパン セミナーホール(大垣市加賀野4丁目1-7)

対 象/高校留学に興味のある中学生・高校生(2年生まで)とその保護者

参加費/無料

問合せ先/(公財)AFS日本協会 岐阜支部 成田

TEL:080-4372-9423 E-mail:info-gifu@afs.or.jp

▶コートジボワールの子供達に愛を!

コートジボワールの子供達に愛の運動靴、文房具等を送り届けているNPO法人ぎふ・コートジボワールのカク・ブル・ジョージさんのお話を伺います。

と き/9月22日(金)開場17:30

と ころ/岐阜グランドホテル(岐阜市長良648)

定 員/80名~100名

参加費/3,500円(食事代)

問合せ先/岐阜ソノタクラブ TEL:058-263-1250(事務局:安田多賀子)

▶Golden Jubilee&Workshop 2017

岐阜スコティッシュカントリーダンスクラブ創立50周年を迎え、記念行事(ワークショップとボール等)を開催します。国内から120名、海外からは30名を超えるダンサーが参加の予定です。

と き/9月29日(金)13:00~10月1日(日)16:00

と ころ/岐阜 都ホテル(岐阜市長良福光2695-2)

対 象/国内外のスコティッシュ・カントリー・ダンサー

定 員/150名 参加費/4,000円~5,000円

問合せ先/岐阜スコティッシュカントリーダンスクラブ 有田

TEL:058-262-1656 E-mail:artnork@wh.commufa.jp

国旗の貸出

非営利活動団体が国際交流等を目的とした事業に使用する場合に限り、国旗や卓上旗の貸出を無料で行っています。貸出は、原則、貸出・返却時に当センターにご来所いただける場合のみとなりますので、ご了承ください。ご希望の方はお気軽にセンターまでお問い合わせください。

GIC 国旗 検索 

広告主を募集しています!

当センターのホームページ(日本語、英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語)、情報誌「世界はひとつ」(日本語、英語、ポルトガル語、中国語)に掲載する広告を募集しています。詳しくはセンターまでお問い合わせください。

▶日本滞在を楽しくするための「日本語教室」開催中

地元の文化に触れあいながら、中国人講師と日本人講師による講義になっています。中国語を学ぶ日本の方々との交流する機会もあります。

と き/毎週日曜日AM10:00~AM11:30(初級・入門)

と ころ/日中コミュニティ推進会 会議室(岐阜市五反田町13番地)

※詳細はお申し込みをいただいた際にご説明させていただきます。

対 象/岐阜市滞在の中国人実習生 定 員/各教室15名

参加費/500円/月

申込み・問合せ先/日中コミュニティ推進会 郭

TEL:058-253-4433 E-mail:nichukomi@nichukomi.com

▶平成29年度イスラーム文化講座@岐阜モスク開催中

最近何かと話題のイスラーム。イスラーム教徒達の各国の紹介や、気になるトピックのお話を通じて、イスラーム文化について紹介します。

と き/毎月 最終日曜日10:00~11:30 平成30年3月25日(日)まで

と ころ/パーブ・アル=イスラーム岐阜モスク(岐阜市古市場東町田8番)

定 員/25名

参加費/無料

申込み・問い合わせ先/下記のパーブ・アル=イスラーム岐阜モスクをご参照ください。

▶平成29年度はじめてのアラビア語講座@岐阜モスク開催中

アラビア語は、中東や北アフリカの国や地域を中心に約2.8億人に話されており、国連の公用語にもなっている言語です。ドバイ旅行でアラビア語を使ってみたい方、日本在住のエジプト人と話してみたい方など、ぜひ当講座にご参加ください。

と き/毎月 第三土曜日10:30~12:00 平成30年4月21日(土)まで

と ころ/パーブ・アル=イスラーム岐阜モスク(岐阜市古市場東町田8番)

定 員/10名

参加費/実費の1回500円

申込み・問合せ先/パーブ・アル=イスラーム岐阜モスク オバリ

TEL:058-260-7041 FAX:058-260-7042 E-mail:obary3@gmail.com



いちき皮膚科

- ・診療時間
月・火・木・金・土：9:00-12:00
月・火・木・金：15:30-18:30
- ・休診日
土曜午後、水曜、日曜、祝日

〒502-0913

岐阜市東島 3-9-13

☎ 058-231-1237



発行・編集

公益財団法人岐阜県国際交流センター(略称 GIC) 

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2階

電話 058-214-7700 FAX 058-263-8067

トリオフォン 058-263-8066(三者通話電話による行政通訳サービス)

E-mail gic@gic.or.jp URL http://www.gic.or.jp

開館案内 開館 日~金曜日 9:30~18:00 休館 土曜日、祝日、年末年始

対応可能言語 英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語

発行日

平成29年7月1日発行(年3回発行 7月、11月、2月)

